



KB階段・吹抜け手すり 定尺手すり受け 取付け説明書

商品の取り付けには、この取付け説明書をよくお読みになり、正しく仕上げてください。

組み立て・取り付け上の注意事項

注意事項は、商品の性能・機能、強度および安全性を確保する上での重要な内容です。施工の際は必ずお守りください。

- 指定の部品以外は使用しないでください。
- ねじ止め・釘打ち箇所は、指定してあるねじ釘をすべて確実に締めてください。
- 作業スペースなどは養生を行い、キズ・破損の防止対策を必ず行ってください。
- 階段以外への転用や改造は行わないでください。
- 階段本体は重いので、二人以上で扱うなど、取り付けには十分ご注意ください。
- 組み立て・取り付け完了後、正しく作業が行われたこと、および使用上不具合がないか確認してください。
- 施工後、ボルトおよびねじ類にゆるみやガタつき、また使用上危険な箇所や汚れなどが点検してください。
- 作業終了後の商品にキズ、ヘコミなどが点検してください。
- いずれも天然木の突板を使用していますので、取り付けを始める前に必ず色・柄を確認し、予め薄手の色から濃い色順にするなど
仮並べの上、調整しながら順番に組合わせてご使用ください。
- 引き渡し前に清掃を行い、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。

施工前準備

【施工に必要な工具】

- 電気ドリル
- キリ(φ5)
- 面取りドリル(φ8)
- 金やすり

その他必要に応じて工具を用意してください。

梱包内容

- 開梱時に種類と数量を確認してください(部品袋の内容も確認してください)。
- 商品に破損や異常がないか確認してください。
- 開梱後、商品にキズをつけないように保管してください。
- 万一商品に破損や異常がある場合、部品が不足している場合は、お買い求め店までご連絡ください。
なお、梱包内容の詳細については、下記梱包内容をご参照ください。

【梱包内容】

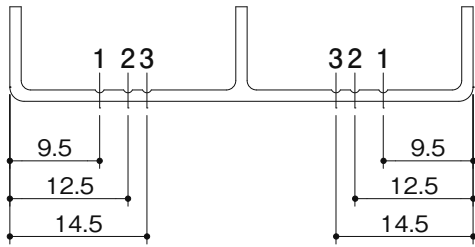
記号・名称	部材(部品)名称	数量
定尺手すり受け 2.5M	手すり受け	1本
	小口キャップ	2個
	タッピン1種皿4×20×7	22本
	取付け説明書	1冊
定尺手すり受け 5M	手すり受け	1本
	小口キャップ	2個
	タッピン1種皿4×20×7	34本
	取付け説明書	1冊

※同梱されているねじなどは多めに入っているものもあります。

1 定尺手すり受けの加工

手すり受けには加工がしてありません。各々の階段および吹抜け手すりの加工を下図を参考に行ってください。
手すり受けの内側に加工用の墨出し溝がついています。加工用の墨出し溝には使用する種類がありますので確認してください。

■手すり受け断面図



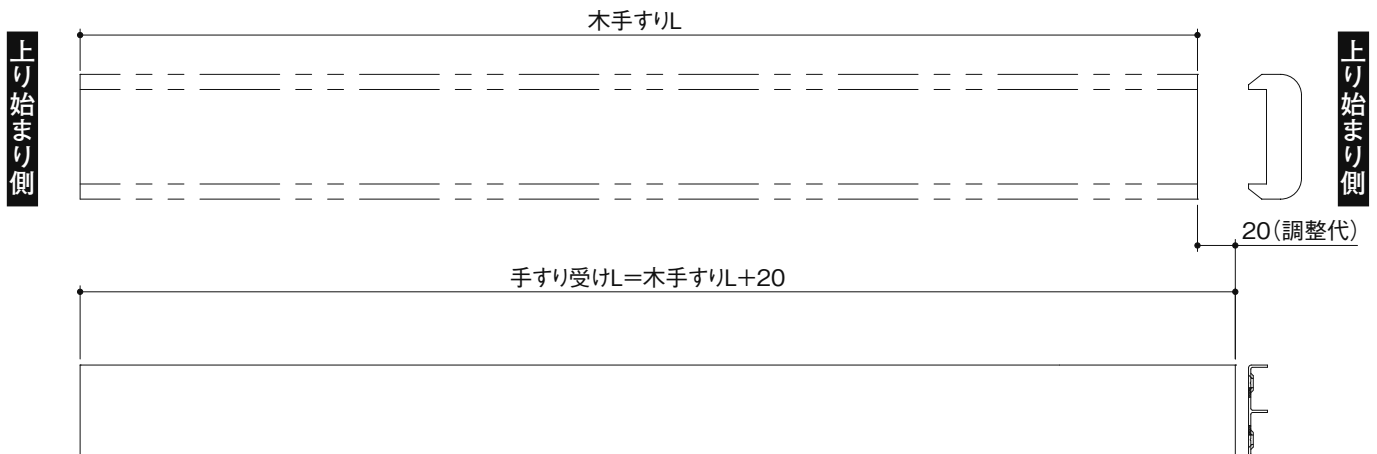
両側のヒレから

- 1番目の溝: 全商品共通 ————— $\phi 5$ 穴、 $\phi 8$ 皿用
- 2番目の溝: 吹抜け手すり ————— $\phi 5$ 穴 および $\phi 5$ 、6長穴用
- 3番目の溝: 直線階段・下廻り階段 — $\phi 5$ 穴、10長穴用

直線階段・下廻り階段の場合

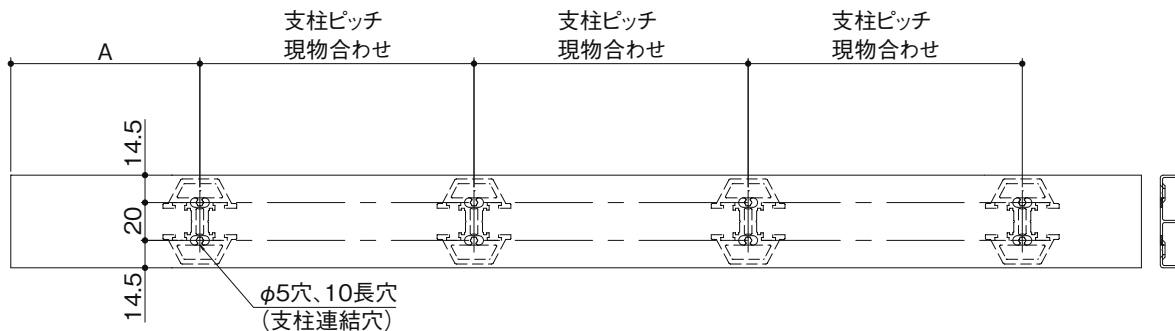
①木手すりL+20mmで手すり受けを切断してください。

※20mmは調整代



②A寸法を算出してください。その後、支柱ピッチを現物合わせで墨出ししてください。

墨出し後、 $\phi 5$ 、10長穴を加工してください。

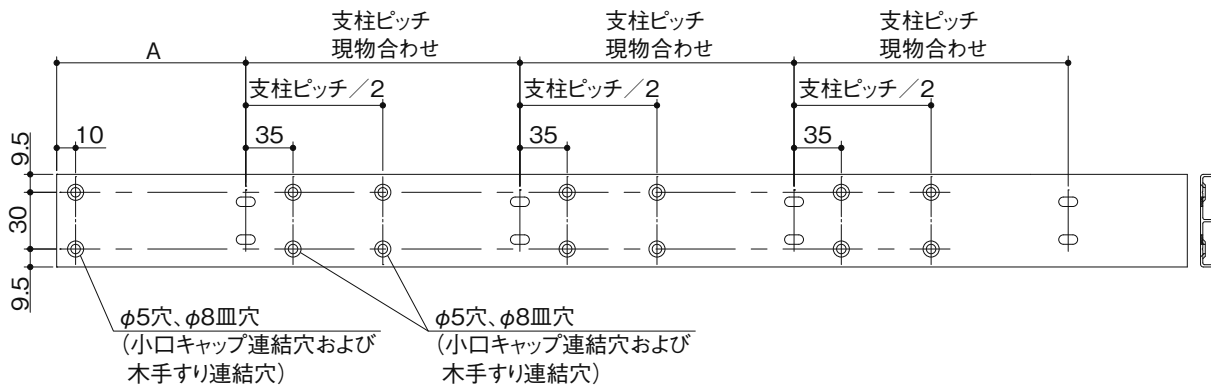


A寸法計算式

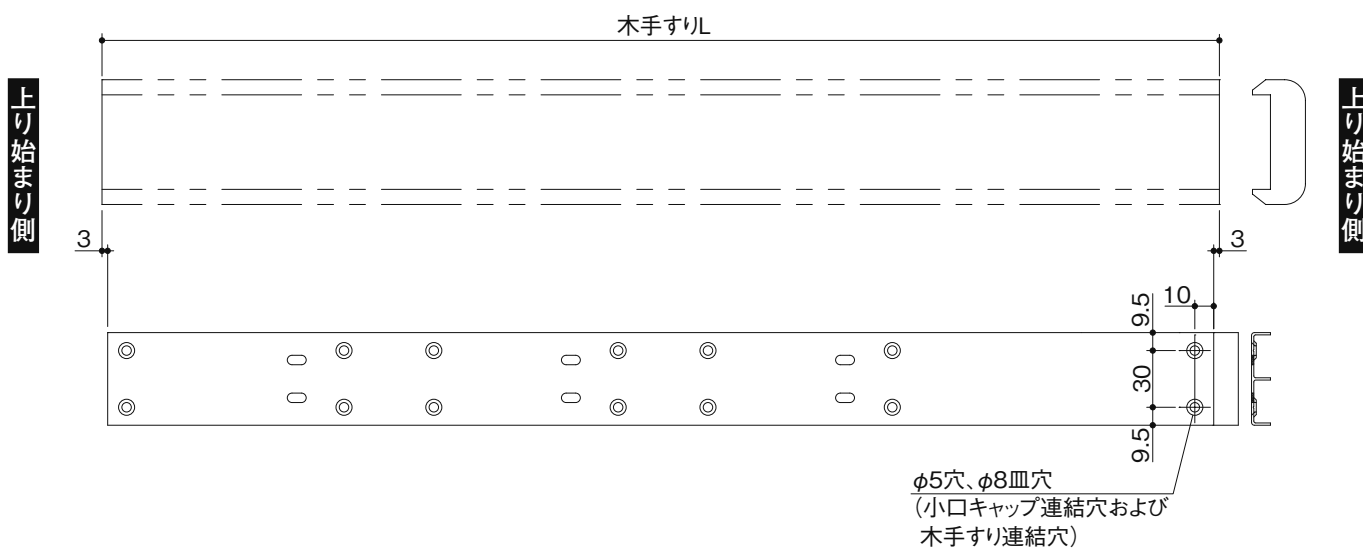
$$\frac{\text{踏面}-99.5}{\cos\theta} - 28 \times \tan\theta$$

※ θ =階段角度

③図のように小口キャップおよび木手すり連結用の皿穴を加工してください。



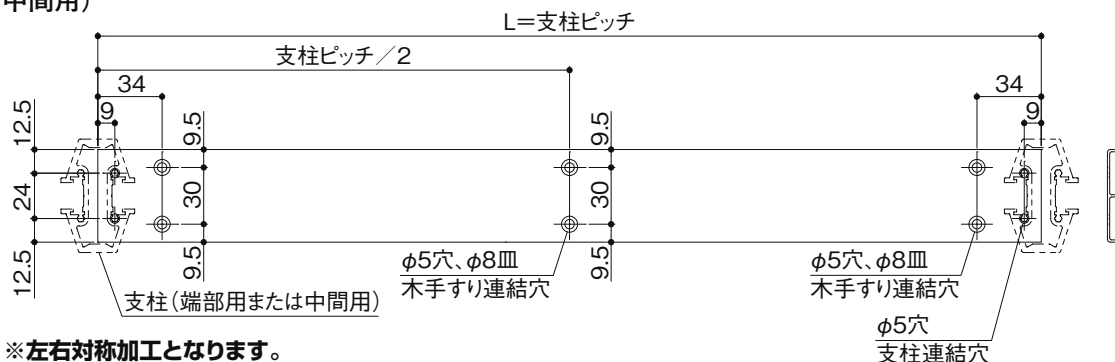
④手すり受けの上り始まり側を木手すりの3mm内側に合わせた後、上り終わり側を木手すりの3mm内側となる位置に墨出しし切断してください。その後、小口キャップおよび木手すり連結用の皿穴を加工してください。



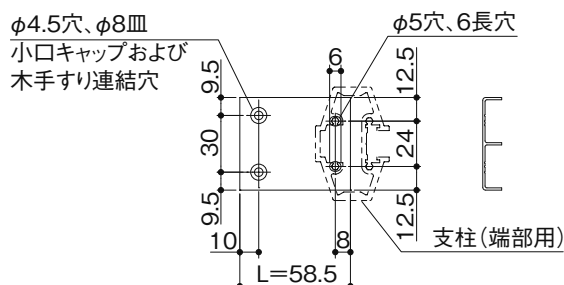
吹抜け手すりの場合

●手すり受け(中間用)、(端部用)を図のように加工してください。

■手すり受け(中間用)



■手すり受け(端部用)



2 小口キャップの取り付け

